

栗山ダム（夕張郡栗山町）

<施設全景>



<位置図>



地図の出典元：国土地理院

<施設概要>

栗山ダムは、治水対策としての洪水調節や栗山町の必要給水量の上昇を受け、水道水の供給、灌漑用水の確保を目的として平成6年に完成した多目的ダムです。

<<みどころなど>>

栗山ダムは、重力式コンクリートダムで高さ31.9mに対し、長さ540mという横長の堤体が特徴的なダムです。北海道が管理するダムの中では1番長さがあり、その堤頂から見る景色はとても素晴らしく、特に新緑の時期と紅葉の時期がおすすめです。また、通常は立ち入ることのできない監査廊や管理室の計器類などの見学を通じてよりダムを知ることができます。

<諸元>

形式：重量式コンクリートダム（G）
堤頂長：540m、堤高：31.9m
湛水面積：0.41km²、総貯水容量等：3,200,000m³

<見学可能人数>

1回当たり30名（15名×2班）

<見学箇所>

堤頂、監査廊、管理棟等

<アクセス>

札幌市中心部より、車で1.5時間

<見学所要時間>

約1時間(応相談)

<その他施設>

駐車場：大型バス駐車可能
トイレ：管理棟にあり

<周辺の観光情報>

- ・天然温泉栗山、天然温泉シャトレーゼがあります
- ・明治11年創業小林酒造
- ・不動の滝(幅5m、落差7mの飛瀑となり流れる)

<注意事項>

- ・小学校低学年の参加不可
- ・動画の撮影はご遠慮下さい
- ・飲酒されている場合は見学をお断りします
- ・**新型コロナウイルス感染症対策を実施する必要がある場合は、監査廊などのダム内部を除く見学とします。**



右岸側正面



放流部



監査廊